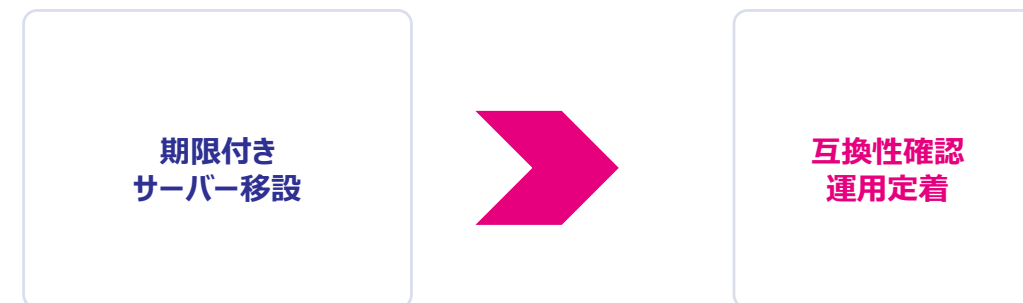


そのサーバー移設、 運用変更まで 見えていますか



DC閉鎖・AWS移行 判断チェックリスト

8項目・約3分で、移行期限、互換性、運用変更の「次の一手」を確認



対象：情報システム部門／DX推進担当／部門責任者／経営者

A | 移設期限・業務影響

- ☐ 1 DC閉鎖・老朽化などで移行期限が決まっている
- ☐ 2 対象サーバーや関連システムをすべて洗い出せていない
- ☐ 3 移行中の停止時間・切替手順を業務部門と合意できていない

B | 既存資産・互換性

- ☐ 4 既存システムを大きく改修せず移したい
- ☐ 5 OS、JP1、Office系ツールなどのバージョン差分が残っている
- ☐ 6 IPアドレスやホスト名の影響範囲を確認できていない

C | 運用変更・現場定着

- ☐ 7 EUCやAccess・Excelなど、現場独自ツールの利用方法が変わる可能性がある
- ☐ 8 移行後の動作テストや現場ユーザーへの支援手順が決まっていない

* EUC : End User Computingの略。現場部門が自ら作成・利用しているAccess、Excelなどの業務ツールを指します。

チェック数 : / 8

0～2個

現状は経過観察

移行対象や業務影響を整理できている状態です。構成変更が発生した場合は、対象範囲と確認手順を更新します。

3～5個

移行準備を具体化

期限、対象システム、互換性、現場運用の不明点を整理します。移行方式やテスト範囲を比較できる状態にします。

6～8個

専門家への確認を推奨

業務停止、互換性、運用変更の確認漏れが残っている可能性があります。移行方式、検証計画、現場支援まで早めに確認します。

相談前に整理したい情報

- 移行期限、対象サーバー、関連システム
- 現場ツール、外部連携、テストが必要な業務

XSEEDSに相談しやすいこと

- 移行対象の現状整理、課題の確認
- 既存資産を活かした移行方式、運用変更の比較

診断結果をもとに、サーバー移設・AWS移行の現状整理からご相談いただけます

無料相談フォームへ



* 記事掲載事例をもとに、移行検討時の確認観点として再構成した簡易チェックです。相談前情報・相談内容には一般的な観点を含みます。